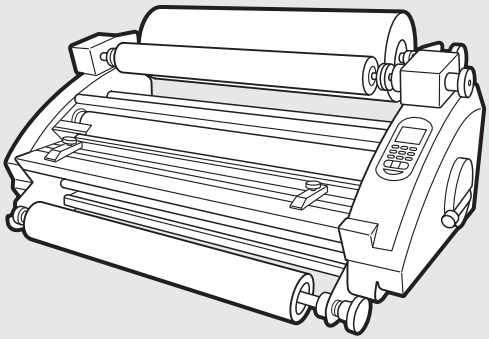
MSパウチ

# L685
# 取扱説明書

## ● もくじ


| | |
|---|---|
| 安全上のご注意 | 2〜4 |
| 各部の名称とはたらき | 5〜6 |
| ローラー保護機能・切り忘れ防止機能<br>安全装置機能 | 6 |
| 操作表示部・ボタン部と<br>圧力レバー調節部の名称とはたらき | 7〜8 |
| 圧力レバー調整部<br>ロールフィルム取り付け方法 | 8 |
| ホットフィルム設置方法 | 9 |
| ホットフィルム加工方法 | 10 |
| コールドフィルム設置方法 | 11 |
| コールドフィルム加工方法 | 12 |
| 圧力レバー調整方法<br>フィルム推奨設定 | 13 |
| フィルム切断方法<br>フィルムの交換方法 | 14 |
| ご使用上の注意 | 15 |
| お手入れ<br>消耗品について | 16 |
| こんなときは | 17 |
| 保証規定<br>製品仕様 | 18 |

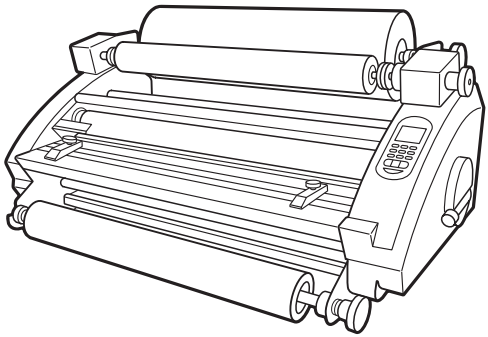
■このたびは、MSパウチ をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
MSパウチ は皆様に安心してご使用いただけますよう安全性を第一に設計し、製作いたしております。なおご使用前には、この取扱説明書をよくお読みいただきいつまでもご愛用くださいますようお願い申しあげます。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

# 内容物の確認

下記のとおり、製品本体および付属品が同梱されていることを確認してください。

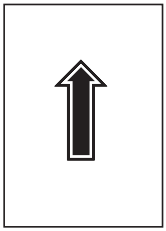
- 製品本体…… 1 台
- 取扱説明書（保証書付き）…… 1 部
- フィルムセットボード…… 1 枚
- 六角レンチ…… 1 個
- 製品カバー…… 1 枚

製品本体



取扱い説明書

フィルムセットボード



# 安全上のご注意

**この取扱説明書及び製品では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注 意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

**⃠ 注意事項を示します。**
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

**● 記号は規制、要請事項を示します。**
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## ⚠ 警 告

1. **乳幼児・お子様はけがをするおそれがありますので近づけないでください。**
   内部にヒーターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。

2. **お子様だけで使わせたり幼児の手の届くところでは使わないでください。**
   やけど・感電・けがをするおそれがあります。

3. **表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。**
   火災・感電のおそれがあります。

4. **この機器を分解しないでください。**
   内部にはヒーターなどがあり、やけど、けがのおそれがあります。

## ⚠警告

5.電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、重い物を乗せたり、引っぱったりしないでください。
電源コードをいため、火災・感電のおそれがあります。

6.万一、発熱したり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。
すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

7.万一、異物＜金属片、水、液体＞が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

8.この機器を改造しないでください。
火災・感電のおそれがあります。

9.濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

10.投入口や排出口に絶対に手や棒などを入れないでください。
内部にヒーター、ローラーがあり、けがの原因となることがあります。

11.髪の毛、ネクタイ、ネックレス、着衣のそで、ブレスレット、時計のチェーンなどを投入口にたらさないでください。
引き込まれてけがの原因になることがあります。

# ⚠注意

1. **本製品の上、及び下に熱に弱いものを置かないでください。**
   変色、破損のおそれがあります。

2. **本製品の掃除にベンジン、シンナーなどの可燃性溶剤や可燃性スプレーを使用しないでください。**
   後で電源を入れたときに引火するおそれがあるほか、本体の変色のおそれがあります。

3. **ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。**
   落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

4. **冷暖房のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。**
   火災・感電・故障の原因となることがあります。

5. **直射日光の当たる場所で使用しないでください。**
   火災・故障の原因となることがあります。

6. **この機器を移動させる時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。**
   コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

7. **作業が終了した時は、電源を切ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
   火災の原因となることがあります。

8. **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持っておこなってください。**
   コードの断線による火災の原因となることがあります。

9. **植物、生き物、食べ物、布類、金属、液体などをパウチしないでください。**
   火災のおそれがあります。

10. **本製品はパウチ以外の用途には使用しないでください。**
    事故のおそれがあります。

# 各部の名称とはたらき

図1．全体図

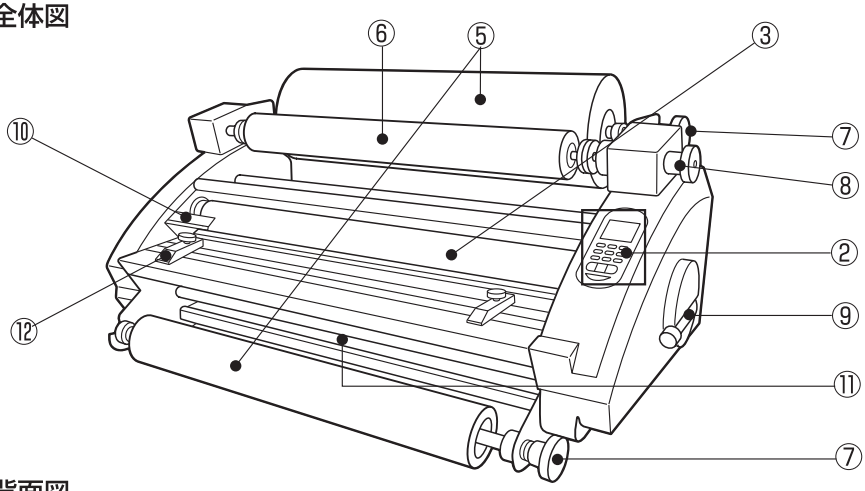
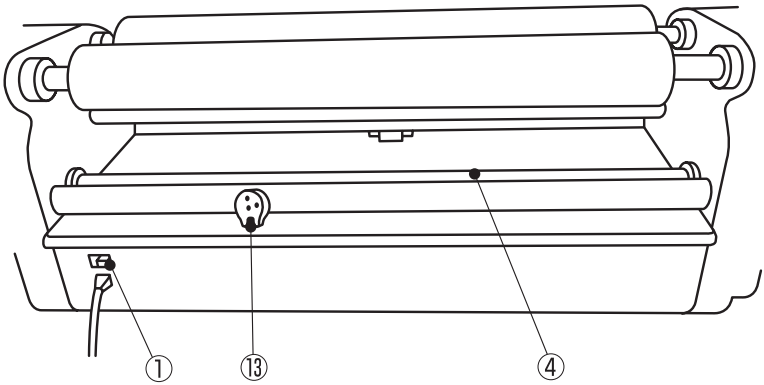



図2．背面図




| | |
|---|---|
| ①電源スイッチ | 「ON」側に押すと機械に電気が通じます。 |
| ②操作表示部・ボタン部 | 操作表示部・ボタン部についての表示があります。<br>詳細については7、8ページ参照。 |
| ③ヒートローラー | パウチフィルムを加熱、圧着します。 |
| ④プルローラー | パウチされたものを排出します。 |
| ⑤テンションシャフト | パウチフィルムを装着しテンションをかけます。 |

| | |
|---|---|
| ⑥巻き取りボビン | コールドパウチ時に使用します。<br>接着面のないフィルムを巻き取ります。 |
| ⑦テンションハンドル | パウチフィルムを装着しテンションをかけます。 |
| ⑧テンションノブ | パウチフィルムを装着しテンションをかけます。 |
| ⑨圧力レバー | 圧力の設定を行います。 |
| ⑩セーフティーカバー | ヒートローラーの露出を防止します。 |
| ⑪フロントテーブル | パウチするものをこのテーブルから真っ直ぐに入れます。 |
| ⑫台紙ガイド | 投入台紙のサイズによって、幅を変更します。 |
| ⑬フィルムカッター | パウチフィルムを切断します。 |

## ローラー保護機能・切り忘れ防止機能・安全装置機能

### ローラー保護機能

高温防止のため、READY状態、圧力レバーの調整を38～250μに設定した状態、ローラー無回転状態で15分間操作を行わなかった場合、自動で待機モードに替わり、ローラー温度は80℃まで調節されます。
待機モード時は、すべてのボタンが使用不可になります。
待機ボタンを押すと正常な操作に戻ります。

### 切り忘れ防止機能

切れ忘れ防止のため、READY状態、ローラー無回転状態で60分間操作を行わなかった場合、自動で待機モードに替わり、ローラー温度は80℃まで調節されます。待機モード時は、すべてのボタンが使用不可になります。待機ボタンを押すと正常な操作に戻ります。

### 安全装置機能

セーフティーカバーとフロントテーブルが正しく設置されていない場合、安全装置機能が働き、運転ボタンを押しても運転が実行出来なくなります。セーフティーカバーとフロントテーブルを正しく設置することで運転が実行可能に戻ります。

※この機能は製品を安全に長く使用して頂くための機能となっております。

# 操作表示部・ボタン部と圧力レバー調整部の名称とはたらき

図1．操作表示部・ボタン部

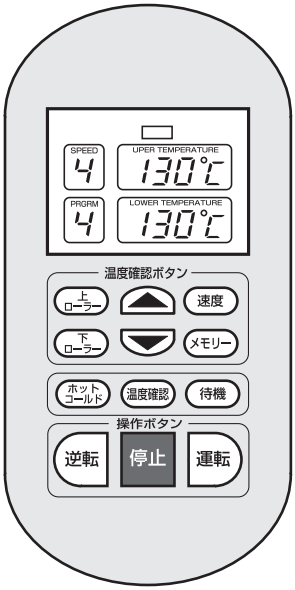
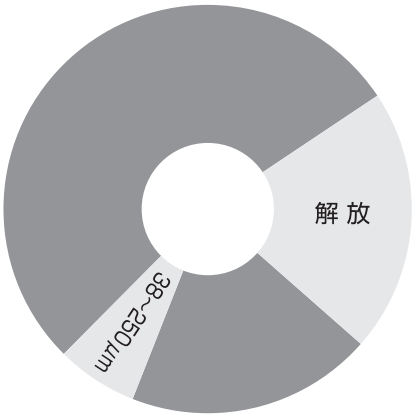



図2．圧力レバー調整部




| | |
|---|---|
| SPEED表示 | 速度ボタンを押したときに表示が変わります。<br>速度は1から9まで変化します。 |
| PRGRM表示 | メモリーボタンを押して「▲/▼」の矢印ボタンを押すと表示が変わります。表示は1から9まで変化します。 |
| UPER TEMPERATURE表示 | 上ローラーボタンを押して「▲/▼」の矢印ボタンを押すと表示が変わります。温度は0から150℃まで変化します。 |
| LOWER TEMPERATURE表示 | 下ローラーボタンを押して「▲/▼」の矢印ボタンを押すと表示が変わります。温度は0から150℃まで変化します。 |
| 速度ボタン | ローラーの運転速度を調節します。速度ボタンを押した後、「▲/▼」の矢印ボタンを押して速度調節します。 |
| メモリーボタン | 温度と速度を組み合わせたプログラムの呼び出しとメモリーをするボタンです。メモリーする場合は、メモリーボタンを押した後、プログラム番号を「▲/▼」の矢印ボタンを押して設定します。その後、温度ボタン、又は速度ボタンを押し「▲/▼」の矢印ボタンを押し設定します。メモリーは9パターンの設定の保存が可能です。設定を呼び出す場合は、メモリーボタンを押し、「▲/▼」の矢印ボタンを押し設定します。 |
| ホット/コールド<br>パウチボタン | ホット/コールドパウチの切り替え。コールドパウチ設定時は待機モードはありません。 |

| | |
|---|---|
| 温度確認ボタン | 上下ヒートローラーの温度を確認します。温度表示が5回点滅した後、自動的に元の設定に戻ります。 |
| 上ローラーボタン | 上ヒートローラーの温度を調節します。ボタンを押した後、「▲/▼」の矢印ボタンを押して温度調節します。 |
| 下ローラーボタン | 下ヒートローラーの温度を調節します。ボタンを押した後、「▲/▼」の矢印ボタンを押して温度調節します。 |
| 待機ボタン | 待機モードに替わります。温度は80℃まで調節されます。このモードの時は、すべてのボタンは使用不可になります。待機ボタンをもう一度押すと正常な操作に戻ります。 |
| 停止ボタン | 機械の運転停止ボタン。<br>停止ボタンを押すことで機械の運転を停止出来ます。 |
| 運転ボタン | 機械の運転実行ボタン。<br>ボタンを押すことで機械の運転を実行出来ます。 |
| 逆転ボタン | ローラーの逆転ボタン。逆転ボタンを押すとローラーが逆転します。ボタンを押し続けることでローラーは逆転します。 |

# 圧力レバー調整部

| | |
|---|---|
| 開放 | 上下ヒートローラー、上下プルローラーを離します。<br>使用しない時やローラーの汚れなどを拭取る際にご使用ください。 |
| 38~250μm | 厚さ38~250μmのホットフィルム、コールドフィルムをパウチする際にご使用ください。 |

# ロールフィルム取り付け方法

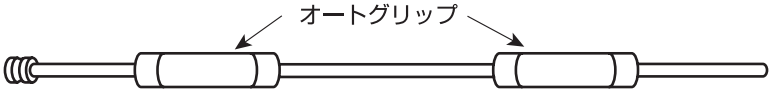



図1

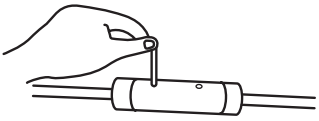


図2

図3

1. 図1で示したように、オートグリップを上/下テンションシャフトに挿入します。
2. 図2で示したように、付属品の六角レンチを使用して、オートグリップを固定します。
3. 図3で示したように、テンションシャフトにロールフィルムを取り付ける位置決めマークがあります。上下のロールフィルムを同じ位置決めマークに合わせて挿入してください。

# ホットフィルム設置方法

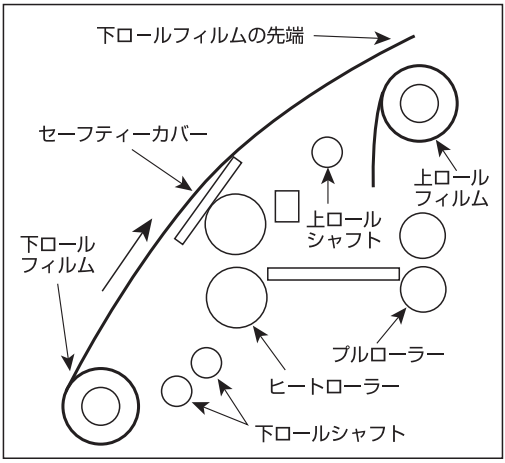



図1

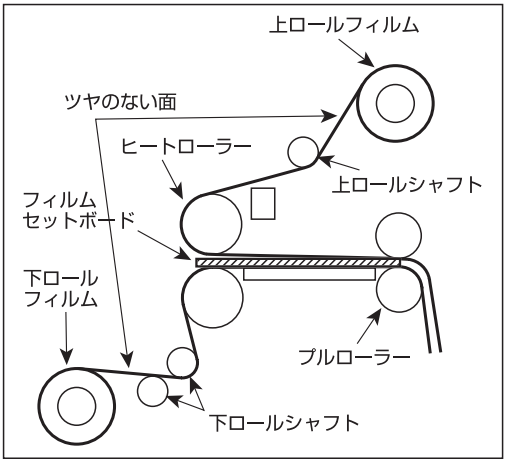



図2

1. ローラーが冷めていることを確認してください。
2. 圧力レバーの調整を開放状態に設定し、フロントテーブルを取外してください。
3. 下ロールフィルムの先端を図１のように上ロールフィルムまで引っ張り上下のフィルム幅の左右がぴったり合わさるように調整してください。
4. フィルム位置を調整した後、最初に下ロールフィルムを図2のように、ヒートローラーからプルローラーの間に通してください。
   通しづらい場合、機械の後方に回り、後から引張ってプルローラーにフィルムを通してください。
5. 下ロールフィルムを通した後、上ロールフィルムも図2のように、ヒートローラーからプルローラーの間に通してください。
6. 上下フィルムを通した後、ヒートローラーからプルローラーの間にたるみがなくなるようにフィルムを張り、図2のようにフィルムセットボードを上下フィルムの間に設置してください。
7. 圧力レバーの調整を38～250μに設定してください。 設定した際にフィルムの密着部分がぴったり重なっていない場合、左右ぴったり合わさるように再度調整してから圧力レバーを調整してください。（7～8ページ参照）
8. フロントテーブルとセーフティーカバーを正しく設置してください。
   正しく設置されていない場合、運転が実行出来ません。
9. 電源スイッチをONにしてください。（5ページ参照）
10. フィルムの厚さに基づいて、ローラーの温度、速度を調節してください。
    （13ページ参照）
11. 予熱完了後、運転ボタンを押し、プルローラーからフィルムが排出されていることを確認してください。投入したフィルムセットボードは再度フィルムから取り外してご使用してください。

# ホットフィルム加工方法

1. 電源スイッチをONにしてください。（5ページ参照）
2. 圧力レバーの調整を38～250μに設定し、フィルムの厚さに基づいて、ローラーの温度、速度を調節してください。
   13ページのフィルム推奨設定参照。
3. 設定した温度になるまで、「WAIT」表示が点滅します。予熱が完了したら「WAIT」表示から「READY」表示に変わり、「READY」ランプは点灯します。
4. 運転ボタンを押すとローラーは回転を始めます。ローラーが回転しない場合は、セーフティーカバー、フロントテーブルが正しく設置されているか確認してください。
5. テンションハンドルを使用してロールフィルムの張力を適切に調整してください。このとき、時計周りで張力は大きくなり、反時計周りで張力は小さくなります。張力が大きすぎると、ローラーの運転が遅くなるか、運転が出来なくなる可能性があります。また、張力が小さすぎると、しわが発生します。
6. フロントテーブル上の台紙ガイドを加工する台紙の大きさに合わせて台紙が真っ直ぐ入るように調節してください。
7. パウチ加工品をきれいに仕上げる為に、フィルムの両端が少なくとも5mm以上隙間が確保できる台紙でパウチ加工を行ってください。
8. パウチ加工が完成したら、停止ボタンを押し運転を終了してください。
9. 運転終了後、機械後部に設置されているフィルムカッターでパウチ加工品を切断してください。（14ページ参照）
10. パウチ加工後、パウチ完成品は熱くなっていて、パウチ加工品は曲りやすくなっっています。完成後、平らな場所に置いて冷却してください。
11. パウチ加工品の作業が全て完成した後、圧力レバーを開放状態に設置してください。
12. 電源スイッチをOFFにしてください。

注意事項

1. 使用頻度の多い設定をメモリーボタンで保存することをお勧めします。
2. 連続してパウチ加工を行う場合、ローラーの温度が徐々に下がり、「READY」表示から「WAIT」表示に変わることがあります。
3. 上下フィルムの張力は出来るだけ均等にしてください。
4. 作業しない場合は必ず圧力レバーを開放にしてください。
   圧力ローラー間は高温になりますので故障の原因になります。

# コールドフィルム設置方法

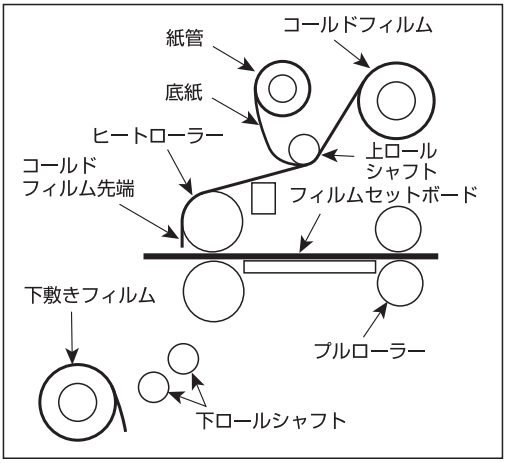



図1

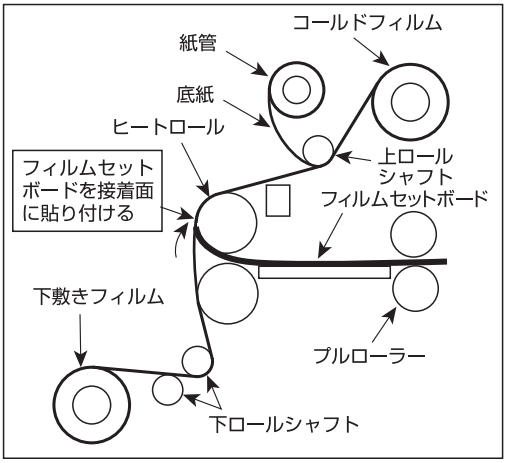



図2

1. フロントテーブルを取外してください。
2. 機械の真ん中にフイルムセットボードを図１のようにヒートローラーからプルローラーまで通してください。このときフィルムセットボードは図1のようにヒートローラーから出ている状態で設置してください。
3. 上コールドフィルムを上ロールシャフトまで巻き取り、接着部分を剥がしてください。
4. 接着部分を剥がした後、接着面のないフィルムを紙管を取付けた巻き取りテープ等でボビンに貼り付けてください。接着剤のあるフィルムは図１のように上ヒートローラーに、たらしてください。
5. 圧力レバーの調整を38～250μに設定してください。（7～8ページ参照）
6. ヒートローラーから出ているフィルムセットボードを図2のように上ヒートローラーにたらしているフィルムの接着面に貼り付けてください。
7. 下敷きフィルムを図2のように上ヒートローラーまで引張り上ヒートローラーにたらしたフィルムの接着面に交差するように貼り付けてください。
   貼り付ける際、上下フィルムをぴったり合わせて貼り付けてください。
8. フロントテーブルとセーフティーカバーを正しく設置してください。
   正しく設置されていない場合、運転が実行出来ません。
9. 電源スイッチをONにしてください。（5ページ参照）
10. ホット／コールドボタンを押して、設定をコールドに切替えてください。
11. フィルムの厚さに基づいて、速度を調節してください。（13ページ参照）
    設定後、「READY」表示が点灯します。
12. 運転ボタンを押し、設置されたフィルムボードを排出してください。
13. 排出後、機械後部に設置されているフィルムカッターでパウチ加工品を切断してください。（14ページ参照）

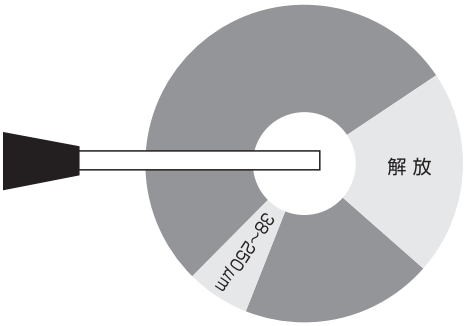
# コールドフィルム加工方法

1. 電源スイッチをONにしてください。（5ページ参照）
2. ホット/コールドボタンを押して、コールド設定に切替えてください。
3. 圧力レバーの調節を38～250μに設定し、フィルムの厚さに基づいて、速度を調節してください。（13ページ参照）
4. 設定後、「READY」表示が点灯します。
5. 運転ボタンを押すとローラーは回転を始めます。ローラーが回転しない場合は、セーフティーカバー、フロントテーブルが正しく設置されているか確認してください。
6. テンションハンドルを使用してロールフィルムの張力を適切に調整してください。このとき、時計周りで張力は大きくなり、反時計周りで張力は小さくなります。張力が大きすぎると、ローラーの運転が遅くなるか、運転が出来なくなる可能性があります。また、張力が小さすぎると、しわが発生します。
7. フロントテーブル上の台紙ガイドを加工する台紙の大きさに合わせて台紙が真っ直ぐ入るように調節してください。
8. パウチ加工品をきれいに仕上げる為に、フィルムの両端が少なくとも5mm以上隙間が確保できる台紙でパウチ加工を行ってください。
9. パウチ加工が完成したら、停止ボタンを押し運転を終了してください。
10. 運転終了後、機械後部に設置されているフィルムカッターでパウチ加工品を切断してください。（14ページ参照）
11. パウチ加工の作業が全て完成した後、圧力レバーを開放状態に設置してください。
12. 電源スイッチをOFFにしてください。

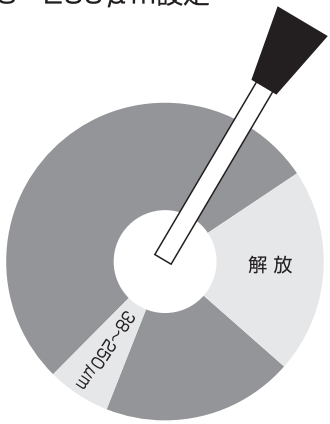
# 圧力レバー調整方法

ご使用になるフィルム厚に合わせて圧力レバーを調節してください。

開放設定




38~250μm設定

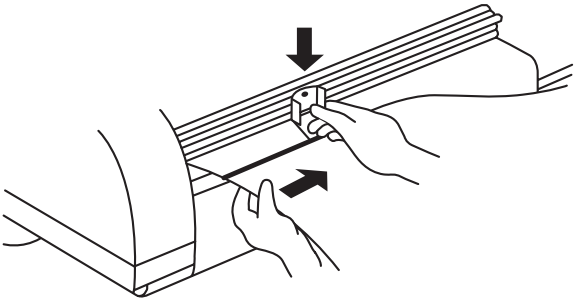



# フィルム推奨設定

ご使用になるフィルム厚に合わせて温度、速度を設定してください。

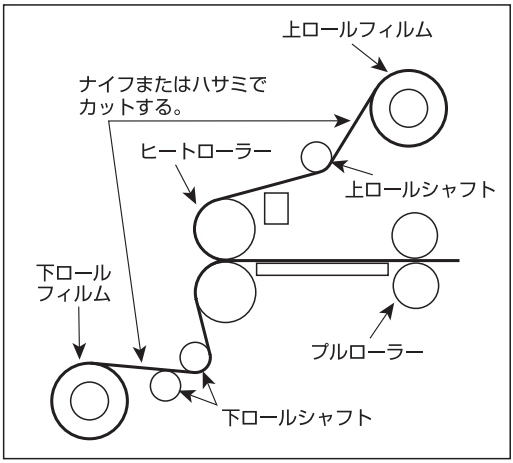
| No. | フィルムの厚さ | 設定仕様 | |
|---|---|---|---|
| | | 温度（上下共通） | 速　　度 |
| 1 | 38μm | 100℃ | 5 |
| 2 | 75μm | 110℃ | 4 |
| 3 | 100μm | 120℃ | 4 |
| 4 | 125μm | 120℃ | 5 |
| 5 | 150μm | 125℃ | 3 |
| 6 | 175μm | 130℃ | 4 |
| 7 | 200μm | 135℃ | 3 |
| 8 | 250μm | 140℃ | 3 |

# フィルム切断方法



1. フィルムカッターは、パウチの後部に設置しています。
2. フィルムカッターを左端に移動後、片手でフィルムを押さえ、もう片手でフィルムカッターを押しながら図１の方向に滑らし、パウチ加工品の切断を行ってください。

# フィルムの交換方法




1. フィルム交換の際、上下ロールフィルムとテンションシャフトの間をカッターまたはハサミ等でフィルムを切断してください。
2. 圧力レバーを開放状態にして、ヒートローラー、プルローラーを離してフィルムを後方へ引き抜いてください。

**注意：**ローラーが冷めていることを確認して、作業を行ってください。
やけどする恐れがあります。また、カッター、ハサミ等をご使用するときはヒートローラーに傷を付けないでください。
故障の原因になります。

# ご使用上の注意

1. カットしたフィルムの投入は故障の原因となります。

2. 片面のみのパウチは行わないでください。

3. 加工する台紙を斜めに投入しないでください。
   フィルムが詰まりトラブルの原因となります。

4. 台紙をはさまないで、パウチフィルムだけで投入しないでください。

5. 必ず平らな所へ設置し、フィルム排出口付近（機械後方）はパウチ加工品を取り出せるスペースを十分に確保してください。
   フィルムが詰まる原因となることがあります。

6. 貴重品・複製不可能なものはパウチしないでください。

7. インクジェットプリンターにより印刷された印刷物は十分に乾燥させてからパウチしてください。

8. パウチフィルムと合わせて厚さが1.0mmより厚いものは投入しないでください。

9. 必ずMSパウチフィルムを使用してください。パウチフィルムの特性が合わないとトラブルの原因となることがあります。

10. パウチ以外の用途に使用しないでください。

11. ヒートローラーに傷つける恐れのある鋭いエッジや尖ったもの（金属片はガラス片等）はパウチしないでください。

12. ヒートローラー、プルローラーに万一糊が付着した場合は、清掃してください。

# お手入れ

お手入れ前には必ず電源プラグを抜いてください。
運転後はローラーが熱くなっていますので冷めてから作業を行ってください。

## 1. 製品本体の掃除方法

●乾いたやわらかい布でふき取り、製品の汚れを落としてください。
●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、そのあと乾いた布でふき取ってください。
●シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類ではふかないでください。変形・変色・キズの原因になります。

## 2. ローラーの掃除方法

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸してよくしぼってふいてください。
＜ご自分で分解、修理等されることは危険ですので、絶対にお避けください。＞

# 消耗品について

消耗品については下記ホームページでご案内させて頂いております。
http://www.meikoshokai.co.jp/

# こんなときは

| 不具合現象 | 原因・対策 |
|---|---|
| 電源が入らない<br>ローラーが回らない | 1．電源プラグをコンセントに差込んでいますか？<br>⇒電源プラグをコンセントに差込んでください。 |
| | 2．操作表示部に表示がされていますか？<br>⇒電源スイッチをONしてください。 |
| | 3．フロントテーブル、セーフティーカバーを正しく設置していますか？<br>⇒フロントカバー、セーフティーカバーを正しく設置してください。 |
| 「READY」表示が<br>点灯しない | 1．予熱中ではありませんか？<br>⇒設定温度まで約13～18分かかります。 |
| | 2．室温が低い部屋、または電圧が低い場所で使用していませんか？<br>⇒予熱時間は使用場所の環境条件により変化します。 |
| ローラーの温度が<br>上がらない | 1．コールドパウチ設定になっていませんか？<br>⇒ホットパウチ設定に変更してください。 |
| | 2．待機設定になっていませんか？<br>⇒待機設定を解除してください。 |
| フィルムが詰まる<br>気泡が発生する | 1．下記の原稿を使っていませんか？<br>・湿った紙　・折れた紙　・カールした紙　・凸凹のある紙<br>⇒きれいな紙を使用してください。 |
| | 2．紙以外の材質を投入していませんか？<br>・金属　　・ガラス　　・プラスチック<br>⇒紙以外投入しないでください。 |
| | 3．速度設定は適正ですか？<br>⇒フィルムに合った速度設定で使用してください。 |
| パウチ加工品に<br>しわが発生する | 1．上下フィルムの張力が強すぎではありませんか？<br>⇒上下フィルムの張力を緩めてください。 |
| パウチ加工品の<br>密着が悪い | 1．ローラーの温度が低くありませんか？<br>⇒ローラーの温度を高くしてください。 |
| | 2．パウチ速度は速くありませんか？<br>⇒パウチ速度を遅くしてください。 |

上記の対策を行っても不具合が解決しない場合は修理窓口までご連絡ください。

《修理窓口》明光フィールドサービス株式会社
TEL 03−5994−1611

# 保証規定

1．保証期間内（お買い上げ日より１年間）に正常な使用状態において故障した場合は、無料修理いたします。
2．次のような場合は保証期間中でも有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
（ハ）火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、その他、天災地変などによる故障及び損傷。
（ニ）保証書のご提示の無い場合。
（ホ）本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
（ヘ）ＭＳパウチフィルム以外のフィルム使用による故障。
3．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

◆修理、サービスのご用命のときは保証書をご提示ください。
◆ご使用の際は取扱説明書をよく読んでからお使いください。

# 製品仕様

| 商品名・型式 | MSパウチ<br>**L685** |
|---|---|
| 大きさ（W×D×H）（mm） | 970×540×470 |
| 投入口幅（mm） | 685 |
| 最大パウチ厚（mm）（フィルム厚＋原稿） | 1.0 |
| 対応フィルム厚（μm） | 38～250 |
| パウチ速度（mm/min） | ～2,000（50Hz／60Hz） |
| 使用ローラー数 | 4 |
| ウォームアップタイム（分） | 約13～18分 |
| 重量（kg） | 約74 |
| 電源 | AC100V　50Hz／60Hz |
| 定格消費電力（W） | 1350 |
| 最大電流（A） | 13.5 |